

科目区分	専門教育科目	授業科目名	病院実習			科目コード	24L506	担当者	濱口 なぎさ、武藤 玲路、森 弘行、江頭 万里子			担当形態	複数
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件			
授業形態	実習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	病院での実習を行い、患者様とのかかわりを通して、病院の役割や機能を具体的に理解する。							科目に含まれることが必要な事項		

授業の主題	病院での学外実習を通して、医療事務の現場で求められる職業人としての資質や素養を修得する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	実習先の評価を事後指導の二者面談のときに口頭で伝える。
授業の方法	現場において専門的な業務に携わることで、学内では学び得ない職業人としての資質を身に付ける。また、実習先の評価のみならず、学内での実習前のガイダンスとレポート提出、実習後の報告会も成績評価の対象となる。	アクティブ・ラーニングの実施方法	実習先で見学学習、体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワークを行う。

授業計画		事前・事後学修
<p>&lt;実習前のガイダンス&gt;            ○学外実習の概要説明、実習先の希望調査票の作成            ○昨年度の実習報告書の閲覧、実習関連レポートの作成            ○実習心得の熟知、実習課題の作成、関連書類の作成</p> <p>&lt;実習期間中&gt;            ○学外実習の実施、実習日誌・報告書の作成 ※実働10日間</p> <p>&lt;実習後のガイダンス&gt;            ○学外実習の報告会・反省会            ○実習後アンケートの記入</p>		<p>&lt;実習前&gt;            ○ガイダンスのポイントの整理と実習の準備            180分</p> <p>&lt;実習期間中&gt;            ○実習の振り返り、実習日誌・報告書の作成            180分</p> <p>&lt;実習後&gt;            ○学外実習の総復習180分</p>
		事前・事後学修時間

教科書 [書名/著者名/出版社]	必要に応じてプリントを配付する。	受講生へのメッセージ	病院の方々には日常業務で多忙な中、時間を割いてみなさんを指導してまいります。常に謙虚な態度で実習に取り組み、専門的な知識や技能の習得を心がけ、積極的に活動するよう努めてください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																	
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率(%) 学修成果の	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度					
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル1 (F:59%以下)
観点	尽心	① 学習意欲	50					50	授業への参加意識が欠如することなく、向上心を持って真面目に受講することができる。	勤働性 真面目さ 自己管理能力	参加意識	欠如0回で50点。	欠如1回で40点。	欠如2回で30点。	欠如3回で20点。	欠如4回で10点。	
		② 規律性	10					10	私語や居眠りをする事なく、人として守るべき善悪や是非の判断ができる。	職業倫理 ルール 社会性	受講態度	注意0回で10点。	注意1回で8点。	注意2回で6点。	注意3回で4点。	注意4回で2点。	
	知識・技能	③ 知識															
		④ 技能															
	創造	⑤ 情報活用能力															
		⑥ 課題解決力															
	表現	⑦ 言語活用能力	10				10		実習内容に関する活動や成果について、的確な文章表現や文章構成ができる。	“文章表現力 文章構成力”	実習課題 実習日誌 実習報告書	実習内容の90%以上を理解して記述できる。10点。	実習内容の80%以上を理解して記述できる。8点。	実習内容の70%以上を理解して記述できる。6点。	実習内容の60%以上を理解して記述できる。4点。	実習内容の50%以上を理解して記述できる。2点。	
		⑧ コミュニケーション力	10				10		実習内容に関する活動や成果について、的確なプレゼンや意思伝達ができる。	意思伝達力 プレゼン力	実習報告 全体報告会	実習内容の90%以上を理解して説明できる。10点。	実習内容の80%以上を理解して説明できる。8点。	実習内容の70%以上を理解して説明できる。6点。	実習内容の60%以上を理解して説明できる。4点。	実習内容の50%以上を理解して説明できる。2点。	
	実践	⑨ 主体性	10					10	実習内容に対して、主体的・自主的に取り組むことができる。	自主性 行動力	実習先評価	実習の90%以上に主体的に取り組むことができる。10点。	実習の80%以上に主体的に取り組むことができる。8点。	実習の70%以上に主体的に取り組むことができる。6点。	実習の60%以上に主体的に取り組むことができる。4点。	実習の50%以上に主体的に取り組むことができる。2点。	
		⑩ 協働性	10					10	実習内容に関する他者の意見や感情を理解し、チームワークで取り組むことができる。	他者理解 チームワーク	実習先評価	実習の90%以上にチームワークで取り組むことができる。10点。	実習の80%以上にチームワークで取り組むことができる。8点。	実習の70%以上にチームワークで取り組むことができる。6点。	実習の60%以上にチームワークで取り組むことができる。4点。	実習の50%以上にチームワークで取り組むことができる。2点。	
合計			100			10	10	60	20								